



交通ルールを守ろう

大津地区交通安全子ども自転車大会

大津警察署管内小学校対象の大津地区交通安全子ども自転車大会が6月9日、本田技研工業(株)健保体育館で開催されました。

大会には、5校8チーム計32人が参加し、本町からは菊陽南小学校が出場。幅30㍓の通路とスラローム走行などが待ち受ける難関コースがある実技や学科で競い合い、見事3位入賞を果たしました。

児童たちはこの日のために朝早くから一生懸命練習に取り組み、交通安全を学びました。



3位入賞を果たした菊陽南小チーム

人形劇で楽しむ昔話

人形劇ぶっくる第16回定期公演

菊陽町図書館を拠点に活動する「人形劇ぶっくる」の第16回定期公演が6月3日に開催され、図書館ホールは満員の観客で賑わいました。

昔話「たのきゅう」では、人形たちの仕草や素早い動きに歓声が上がりました。「みんなでうたおう」のコーナーでは、子どもたちに人気の歌などを披露。観客も一緒に歌や踊りを楽しみました。

公演終了後は人形たちがホワイエに並んでお見送り。観客は笑顔で人形たちと触れ合いました。



昔話「たのきゅう」の一場面

ごみの減量を目指す

平成30年度環境美化推進委員会議

各地区の環境美化推進委員による会議が5月16日、杉並木公園管理センターで行われました。環境美化推進委員は、地域住民に対してごみに関する情報提供や分別のアドバイス、ごみステーションを見回って違反ごみの有無を確認するなどの役割を担っています。

会議では、町から委員の活動内容とごみ減量化のための補助金制度についての説明が行われ、地域でのごみ問題やごみの減量化、リサイクル活動などの重要性の再確認が行われました。



ごみの減量について説明を受ける委員の皆さん

練習の成果を発揮

九州パワーリフティング大会で最優秀選手賞

福岡県で4月29日に開催された九州パワーリフティング選手権大会で、松尾匠作さん(八久保)が59kg級で1位に輝き、大会の最優秀選手に選ばれました。

大会前に右足と左肩を痛めるアクシデントに見舞われながらも、減量と練習を重ね、見事1位となった松尾さん。今後の目標について「目標にしていた全日本標準記録の515kgには届きませんでしたが、全日本選手権大会に出場できるよう練習を重ねていきます」と話しました。



練習を積み重ねて全日本選手権大会を目指します

感謝の気持ちを込めて

父の日に牛乳(ちち)を贈ろう

町の酪農業者が運営する熊本市酪農農業協同組合婦人部の古田朱実部長(新山)と相馬由香副部長(南方)が6月14日、後藤町長と吉野副町長、上川教育長に牛乳を贈呈しました。

これは牛乳は健康な体を保つために必要なたんぱく質を多く含んでおり、牛乳の「ちち」と父の日をかけた贈り物として消費を拡大させるキャンペーンの一環です。来年の父の日には、日頃の感謝の気持ちを込めて牛乳を贈りませんか。



「健康に気を付けてください」と牛乳が手渡されました

レベルの高いリーダーを目指して

菊陽町ジュニアリーダー開講式

菊陽町ジュニアリーダーの開講式を6月9日、ふれあいの森研修センターで実施しました。

今年度は9人の小中学生が野外活動、ボランティア活動などの体験を通して、リーダーに必要なスキルを身に付けます。今回の開講式では、シニアリーダーを講師に招き、ジュニアリーダーとしての役割などに関する講話とレクリエーションがありました。

参加者の一人は「1年間の活動を通してレベルアップすることを目標に頑張ります」と話しました。



レクチャーを受ける子どもたち

青空の下

4小学校運動会

晴天に恵まれた5月27日、菊陽中部小学校、菊陽北小学校、武蔵ヶ丘小学校、武蔵ヶ丘北小学校で運動会が開催されました。

徒競走やリレーでは、多数の保護者が大きな声援を送る中、子どもたちは暑さに負けず力強い走りを見せました。

また、綱引きや玉入れなど学年を超えた競技も多数行われ、競い合いながらも和気あいあいと運動会を楽しむ子どもたちの姿が見られました。



力を尽くして走りました

命の大切さと交通安全への願い

菊陽自動車学校がひまわりの植ええ

菊陽自動車学校と県警などが協力し、5月18日にさんふれあ敷地内でひまわりの植ええを行いました。

この事業は、交通事故で亡くなった幼稚園児が育てていたひまわりの種を、警察官が受け取って署内に植えたところ大きく咲いたことから、全国にひまわりを咲かせて命の大切さと交通安全を訴える「ひまわりの絆プロジェクト」の一環として行われました。

参加者の一人は「植えたひまわりが大きく咲き、交通事故がなくなることを願っています」と話しました。



大きく咲くことを祈りながら植える参加者